

# ～ひだまり～

3年4組 学級目標

笑門来福

～夢に向かって try&amp;jump～

第3学年だより

第 37 号

## 作文特集号「学芸発表会」～4組～

本号では、3年4組の作文を紹介します。それぞれの視点、それぞれの立場から見つめた「学芸発表会」という行事。今回も、素晴らしい2作品を掲載しますので、是非お読みください。



### 「裏からの景色」

私は、この学芸発表会を通して学んだことがあります。それは見ている人を発表以外からも楽しませることができます。

私は、裏方としてスポットライトや背景を動かすなどの仕事をしていましたが、練習を重ねるうちに、こだわりがだんだんと強くなり、結果としてとても良いものを作ることができたと思います。

そして、学芸発表会が終わった今、私はとても達成感を得ています。さらに、裏方としての活動を通して、観客とは違う見方で見ることができ、活動としても、人生においても、非常に良い経験だと思いました。

また、私は学年発表の方にも参加させていただきました。私は鹿として、面白い話を心がけながら、声の抑揚などに気を付けて、聞き手をひき付けることを最優先に役に入り切れるように心がけました。話している最中一度だけ大きなミスをしてしまいましたが、それを会場が笑ってくれたことがありました。その時に、上手くアドリブを入れて、笑いを生かした話ができなかったところは大きな反省点でした。

これからは、今回の反省を生かして、前に立って発表する時には、周辺知識を頭にしっかりと入れて、トラブルに対応できるようにそこまで考えて台本を作れるようにしていきたいです。

最終的にみんなが楽しく参加できる学芸発表会を作ることができて良かったです。



裏面にも、もう一作品掲載しています。どうぞ併せてお読みください。

# 「経験練習の成果」

今回の学芸発表会は私にとって、初めての瑞江第三中学校での発表会でした。三学年は修学旅行での経験に基づき発表することになっており、なんと私たちの班の発表が学年代表として選ばれました。正直、とても驚きました。しかし、私たちの班の発表は5分で終わらせるべき発表を9分間もしゃべってしまったことや、細かいところまで言えば、スライドの文字が小さかったり、内容がずれていたりなど本番まで直さなくてはならないことが沢山ありました。スライドを変えるのは簡単でしたが、内容と話す時間の長さを調整するのは難しかったです。発表の話のキャッチを考えたり、できるだけ要点だけを喋るようにする工夫をしました。

発表本番では今までの練習の中で一番うまくいったのではないかなと思いました。話す時間も内容も放課後、残って沢山準備して、調節できて良かったなと思いました。発表の準備で疲れてしまうこともありましたが、学年代表として学芸発表会という何百人も聞いている中で発表するという経験ができて良かったと今、振り返ってみて思いました。

その他には展示も見ました。他学年では全く違うテーマに取り組んでおり、見ていて興味が湧きました。特に私が気に入ったのは他学年の職業について調べている展示です。普段、良く関わる学校の先生という職業から、初めて聞くような職業もあり、面白かったです。

学芸発表会では、あまり接点がない1、2年生の取り組みを見ることができたり、発表の準備を通して新しい友達もできたりしました。

このような機会を設けてください、本当にありがとうございました。



## 【担任の先生から】

今年度の学芸発表会も、面白く笑いが起こったものや、学びになったもの、楽しく手拍子と一緒にしたものなど、様々な発表がありました。どれも素晴らしい内容でしたが、作文やアンケートを見ていると、その内容以上に、準備や練習の成果をたたえる言葉がとても多かったです。あの日のために、たくさんの時間を費やして、これでもかという程に練習をした仲間の思いをくみ取ってくれた人が多かったことに、感動しました。

背景にある人の「努力」や「想い」を一緒に見つめてあげられるような人は、人の気持ちを理解しようとする、思いやりにあふれた人だと思います。

卒業式まで残り4か月。思いやりにあふれた学年で最高の卒業式を迎えましょう。